



アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース (為替ヘッジあり) アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

第10期 (決算日2015年 8月28日)

作成対象期間 (2014年 8月29日～2015年 8月28日)

<A コース>

第10期末 (2015年 8月28日)	
基準価額	11,912円
純資産総額	573百万円
第10期	
騰落率	△ 18.4%
分配金 (税込み) 合計	150円

<B コース>

第10期末 (2015年 8月28日)	
基準価額	14,056円
純資産総額	6,899百万円
第10期	
騰落率	△ 5.0%
分配金 (税込み) 合計	240円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース (為替ヘッジあり)」「アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)」は、このたび第10期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドを通じて主として新興国の株式に分散投資します。アナリストの徹底した調査に基づいたポートフォリオを構築し、積極的な運用を行います。当期もこれに沿った運用を行ってまいりました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号 丸の内トラストタワー本館

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-3240-8608 (受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <http://www.alliancebernstein.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。

○運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○当ファンドは、信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>

上記ホームページアドレスにアクセス ➡ 「ファンド情報」を選択 ➡ 「株式型」の表内の当ファンド名を選択 ➡ 「運用報告書」のアイコンを選択 ➡ 「運用報告書 (全体版)」のアイコンを選択

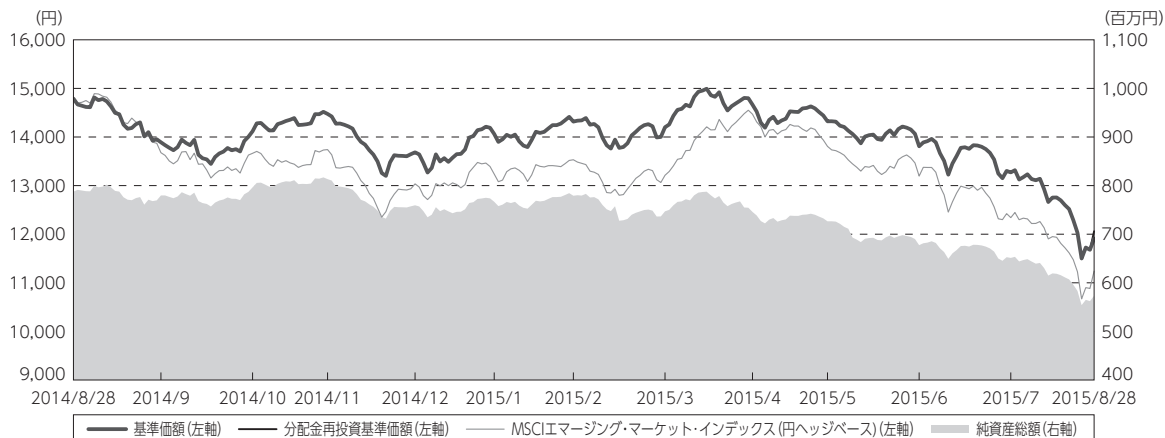
Aコース（為替ヘッジあり）

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース（為替ヘッジあり）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2014年8月29日～2015年8月28日）



期 首：14,790円

期 末：11,912円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率：△ 18.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）は、期首（2014年8月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）です。詳細は3ページをご参照ください。

○当期中の基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比－18.4%*と、ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）の－24.0%を上回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

成長の可能性が高いと判断し保有した新興国株式が、ブラジルや中国の経済指標の改善や金融緩和策等を好感し上昇する局面があった一方で、中国経済の先行不透明感や原油価格の急落等を受けて新興国全体がおおむね下落基調で推移したことから、基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

（2014年8月29日～2015年8月28日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	256 円	1.814 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(137)	(0.972)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(107)	(0.756)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各种種類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(12)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	28	0.198	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の各月末の受益権口数の平均
（ 株 式 ）	(26)	(0.186)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
（ オ プ シ ョ ン 証 券 等 ）	(2)	(0.012)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	9	0.065	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の各月末の受益権口数の平均
（ 株 式 ）	(9)	(0.065)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	42	0.295	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の各月末の受益権口数の平均
（ 保 管 費 用 ）	(12)	(0.084)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(30)	(0.212)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	335	2.372	
期中の平均基準価額は、14,123円です。			

（注）期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

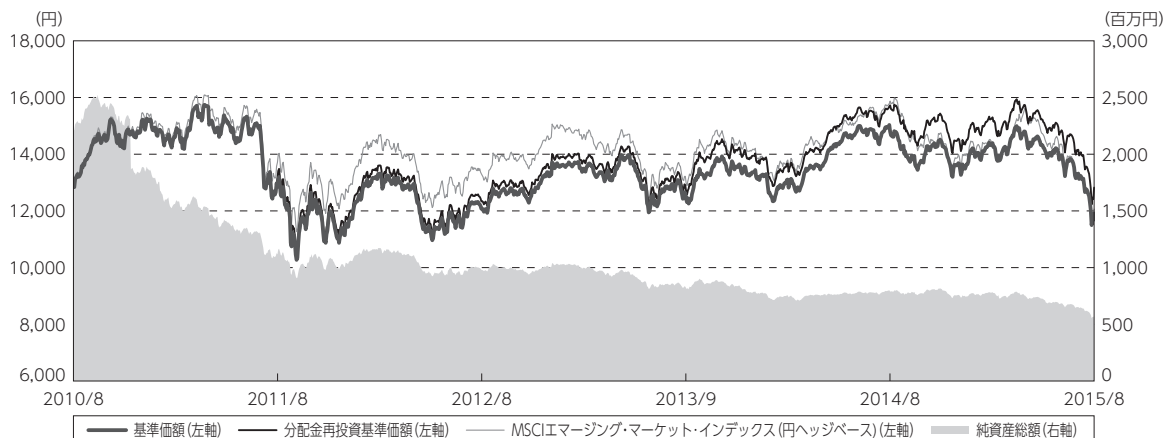
（注）各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注）各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年8月31日～2015年8月28日）



- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 （注）分配金再投資基準価額およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）は、2010年8月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年8月31日 決算日	2011年8月31日 決算日	2012年8月31日 決算日	2013年9月2日 決算日	2014年8月28日 決算日	2015年8月28日 決算日
基準価額 (円)	12,847	12,851	11,970	12,258	14,790	11,912
期間分配金合計（税込み） (円)	—	280	0	260	280	150
分配金再投資基準価額騰落率（%）	—	2.2	△ 6.9	4.6	22.9	△ 18.4
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）騰落率（%）	—	6.7	△ 4.5	0.7	20.5	△ 24.0
純資産総額 (百万円)	2,194	1,116	969	807	787	573

- （注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
 （注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。
 （注）騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 （注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）です。

●ベンチマークに関して

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が世界のエマージング諸国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに、為替ヘッジにかかる費用相当分を考慮して委託会社が円ヘッジベースに換算したものです。

投資環境

（2014年8月29日～2015年8月28日）

新興国株式市場は、期初から変動性の高い展開で推移した後、期末にかけて一段安となり、前期末比で下落しました。

新興国株式市場は、期初から2015年4月半ばにかけては、変動性の高い展開で推移しました。ブラジルや中国における経済指標の改善や金融緩和策等を好感し上昇する局面があった一方で、中国および欧州における景気の弱含み、原油価格の下落、米連邦準備理事会（F R B）による早期利上げに対する影響への懸念等を受けて下落しました。

2015年4月半ば以降は、新興国市場でF R Bの出口戦略の影響が不安視される中、人民元切下げに端を発する中国景気の不透明感の高まりと原油安、さらにはグローバル経済への波及懸念と、投資家の間で不安が増幅しリスク回避が広がったことから一段安となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2014年8月29日～2015年8月28日）

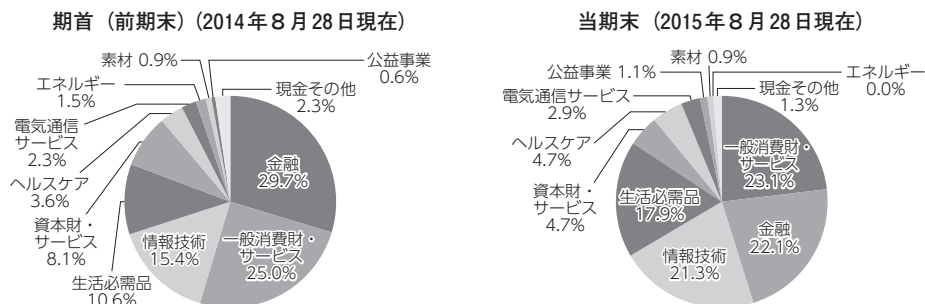
当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式に分散投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

当ファンドは期を通じて、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

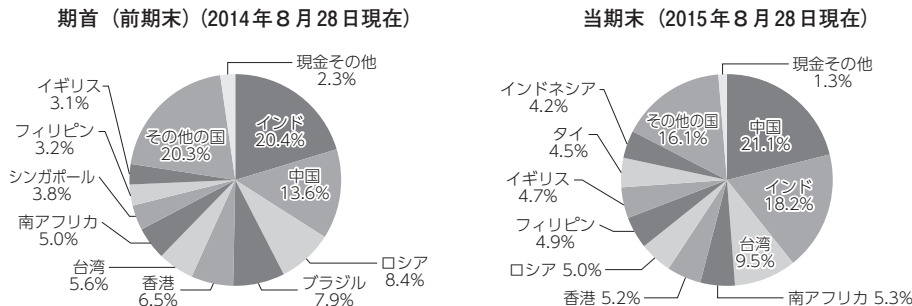
＜マザーファンド＞

ボトムアップによるファンダメンタルズ分析を行い、高い利益成長または持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、市場のダウンサイド・リスクに注視しながらも、長期的な成長トレンドに支えられる、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

マザーファンドのセクター別組入比率



マザーファンドの国別組入比率



※組入比率はアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
セクター配分は、MSCI社／S&P社のGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。
国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。前期末から当期末にかけて一部銘柄の登録国を変更しております。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターや生活必需品セクターの組入比率が上昇する一方、金融セクターや資本財・サービス・セクターの組入比率が減少しました。国別においては、中国や台湾の組入比率が上昇する一方、ブラジルやシンガポールの組入比率が減少しました。

個別銘柄では、南アフリカの製薬メーカーのアスペン・ファーマケア・ホールディングスなどを新規に買い付けたほか、中国の通信サービスのテンセン・ホールディングスなどを買い増しました。一方、南アフリカのメディアのナスパーズなどを一部売却したほか、フランスの企業向け福利厚生サービスのエデンレッドなどを全て売却しました。

株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

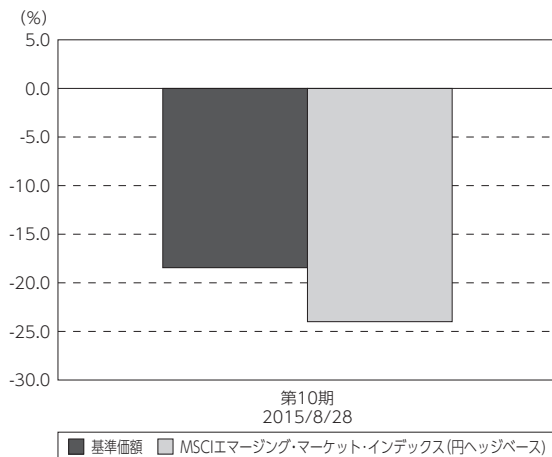
当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年8月29日～2015年8月28日）

ベンチマークとの比較では、当期はセクター配分がプラス寄与となった一方、銘柄選択がマイナスに寄与しました。

セクター配分では、主にエネルギー・セクターや素材セクターをアンダーウェイトしていたことがプラスに寄与しました。銘柄選択では、公益事業セクターやヘルスケア・セクターにおける選択が主にマイナス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジベース）です。詳細は3ページをご参照ください。

分配金

（2014年8月29日～2015年8月28日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、150円（1万口当たり、税込み）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2014年8月29日～ 2015年8月28日
当期分配金	150
（対基準価額比率）	1.244%
当期の収益	－
当期の収益以外	150
翌期繰越分配対象額	4,475

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

新興国株式は、過去の平均水準と比べても先進国株式と比較しても割安に取引されており、バリュエーションは依然魅力的です。また、新興国市場には、先進国市場対比で非常に大きなリスク・プレミアムが存在しており、株価上昇の強力な指標として注目しています。一方で、期末に多くの新興国において政治的また経済的な不確実性が高まったことで、新興国の株式市場を取り巻く環境は困難なものとなっており、慎重なスタンスを維持しています。

マザーファンドでは、引き続き投資哲学に基づき、優れたファンダメンタルズと魅力的な長期トレンドを持つ過小評価された企業を特定することで、新興国市場における有望な投資機会の発掘を行います。当運用が取り入れる地域横断的なリサーチは、安定的な成長が見込まれる、魅力的な銘柄の発掘に貢献していると考えます。

今後も投資環境の変化に注意を払いながら運用にあたり、運用成果の向上に全力で取り組んでいく所ですので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

※将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

2014年8月29日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

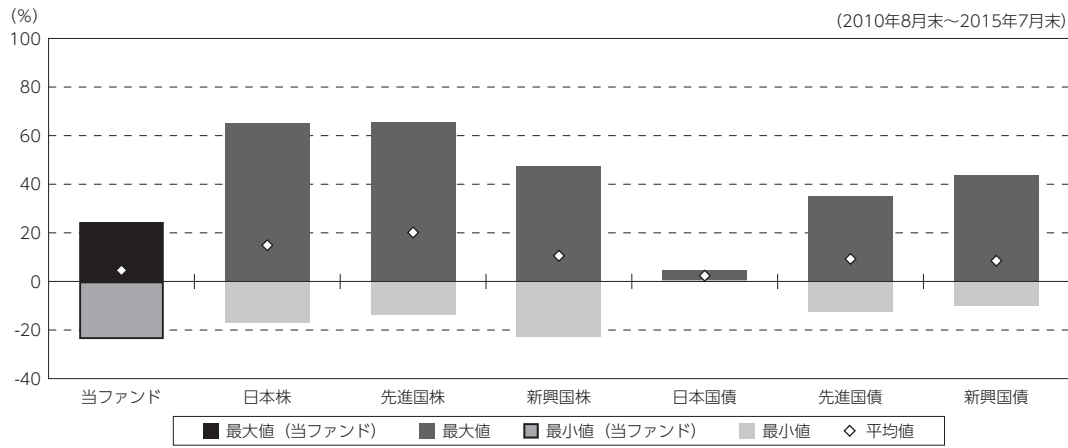
- ① 2014年12月1日付けで一般社団法人投資信託協会（以下「投信協会」といいます。）規則が改正実施されたことに伴い、第26条の2（デリバティブ取引等に係る投資制限）を新設し、デリバティブ取引等について、投信協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとなりました。（変更日：2014年12月1日）
- ② 2014年12月1日付けで投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）が改正施行されたことに伴い、第54条の2（運用報告書に記載すべき事項の提供）を新設し、投信法第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供することができることとしました。（変更日：2014年12月1日）
- ③ 信託約款の付表に規定する「別に定める条件に合致する株式、新株引受権証券および新株予約権証券」については、投信協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」等に基づくものであるため、付表への記載は不要と判断し、付表から削りました。これに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。（変更日：2015年4月17日）
- ④ 信託約款の付表に規定する「委託者の指定する販売会社」については、信託約款に記載することを求めている規則はないため、付表への記載は不要と判断し、付表から削りました。（変更日：2015年4月17日）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2005年8月17日（信託設定日）から2024年8月28日まで	
運 用 方 針	①アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、長期的な信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 ②実質外貨建資産については、為替ヘッジにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主 要 投 資 対 象	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Aコース (為替ヘッジあり)	主としてアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの受益証券に投資します。
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	主として新興国の株式に投資します。
運 用 方 法	①マザーファンドを通じて、主に新興国の株式に分散投資します。 ②アナリストの徹底した調査に基づきポートフォリオを構築します。 ③運用の一部は、アライアンス・バーンスタイン（A B）のグループ会社に委託します。 ④ファミリーファンド方式で運用を行います。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配可能額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	24.4	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△ 23.7	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 12.7	△ 10.1
平均値	4.6	14.9	20.1	10.6	2.4	9.3	8.5

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2010年8月～2015年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株……TOPIX（東証株価指数、配当込み）
- 先進国株……MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株……MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債……NOMURA - BPI 国債
- 先進国債……シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P24の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

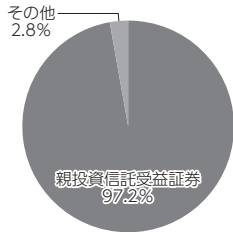
組入資産の内容 (2015年8月28日現在)

組入ファンド

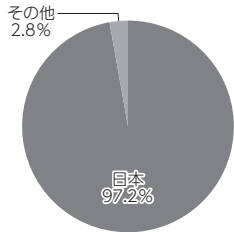
銘柄名	第10期末
	%
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	97.2
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

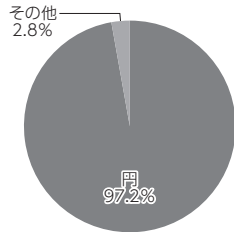
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第10期末
	2015年8月28日
純資産総額	573,445,072円
受益権総口数	481,414,923口
1万口当たり基準価額	11,912円

(注) 期中における追加設定元本額は44,464,712円、同一部解約元本額は95,627,738円です。

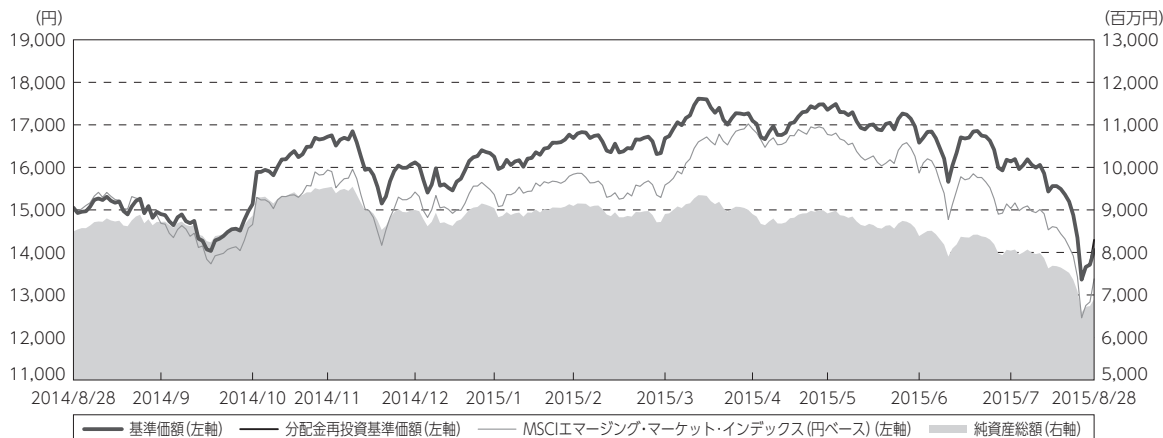
Bコース（為替ヘッジなし）

運用経過

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2014年8月29日～2015年8月28日）



期 首：15,053円

期 末：14,056円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：△ 5.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）は、期首（2014年8月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。詳細は14ページをご参照ください。

○当期中の基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比－5.0%*と、ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）の－11.1%を上回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

成長の可能性が高いと判断し保有した新興国株式が、ブラジルや中国の経済指標の改善や金融緩和策等を好感し上昇する局面があった一方で、中国経済の先行不透明感や原油価格の急落等を受けて新興国全体がおおむね下落基調で推移したことから、基準価額は下落しました。為替相場で円安が進行したことは、基準価額にプラスに働きました。

1 万口当たりの費用明細

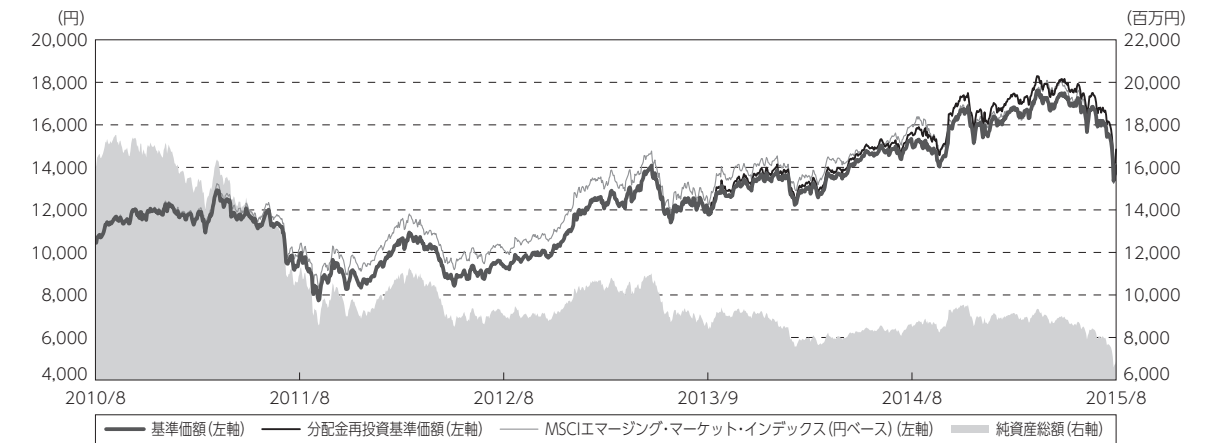
(2014年8月29日～2015年8月28日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	294	1.814	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(157)	(0.973)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(123)	(0.755)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(14)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	32	0.198	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の各月末の受益権口数の平均
(株 式)	(30)	(0.186)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(オ プ シ ョ ン 証 券 等)	(2)	(0.012)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	11	0.067	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の各月末の受益権口数の平均
(株 式)	(11)	(0.067)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	45	0.275	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の各月末の受益権口数の平均
(保 管 費 用)	(14)	(0.084)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(31)	(0.191)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	382	2.354	
期中の平均基準価額は、16,216円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
 (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年8月31日～2015年8月28日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）は、2010年8月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年8月31日 決算日	2011年8月31日 決算日	2012年8月31日 決算日	2013年9月2日 決算日	2014年8月28日 決算日	2015年8月28日 決算日
基準価額 (円)	10,493	9,690	9,253	11,830	15,053	14,056
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	230	280	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.7	△ 4.5	30.3	29.6	△ 5.0
MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円ベース)騰落率 (%)	—	△ 3.1	△ 2.0	26.5	27.0	△ 11.1
純資産総額 (百万円)	15,939	10,976	8,940	8,417	8,494	6,899

(注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。
(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
(注) ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。

●ベンチマークに関して

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が世界のエマージング諸国の株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。

投資環境

（2014年8月29日～2015年8月28日）

【株式市場】

新興国株式市場は、期初から変動性の高い展開で推移した後、期末にかけて一段安となり、前期末比で下落しました。

新興国株式市場は、期初から2015年4月半ばにかけては、変動性の高い展開で推移しました。ブラジルや中国における経済指標の改善や金融緩和策等を好感し上昇する局面があった一方で、中国および欧州における景気の弱含み、原油価格の下落、米連邦準備理事会（F R B）による早期利上げに対する影響への懸念等を受けて下落しました。

2015年4月半ば以降は、新興国市場でF R Bの出口戦略の影響が不安視される中、人民元切下げに端を発する中国景気の不透明感の高まりと原油安、さらにはグローバル経済への波及懸念と、投資家の間で不安が増幅しリスク回避が広がったことから一段安となりました。

【為替市場】

円ドル相場は、期初から2014年12月初めにかけては、米国で発表された経済指標が景気回復を示したことや、F R Bによる利上げ観測が高まったこと、日本銀行が予想外の金融緩和を行ったことなどから、円安ドル高が進みました。その後は、おおむね1ドル＝116円～125円近辺で推移し、期末は1ドル＝121円台となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2014年8月29日～2015年8月28日）

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として新興国の株式に分散投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

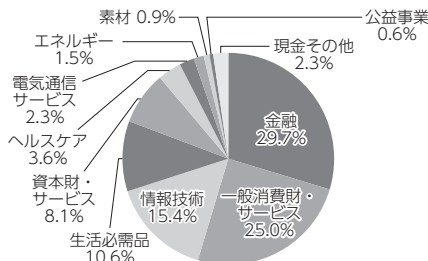
当ファンドは期を通じて、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

＜マザーファンド＞

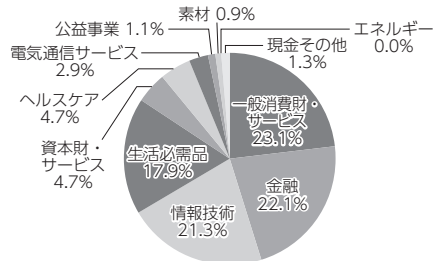
ボトムアップによるファンダメンタルズ分析を行い、高い利益成長または持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、市場のダウンサイド・リスクに注視しながらも、長期的な成長トレンドに支えられる、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

マザーファンドのセクター別組入比率

期首（前期末）（2014年8月28日現在）

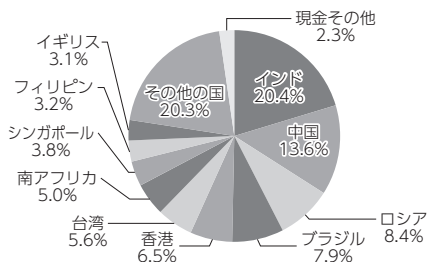


当期末（2015年8月28日現在）

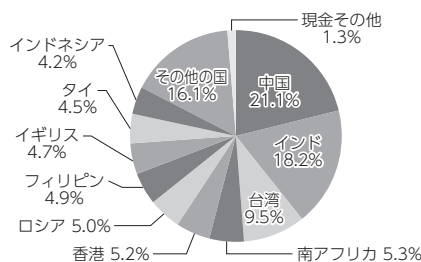


マザーファンドの国別組入比率

期首（前期末）（2014年8月28日現在）



当期末（2015年8月28日現在）



※組入比率はアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
セクター配分は、MSCI社／S&P社のGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。
国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。前期末から当期末にかけて一部銘柄の登録国を変更しております。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターや生活必需品セクターの組入比率が上昇する一方、金融セクターや資本財・サービス・セクターの組入比率が減少しました。国別においては、中国や台湾の組入比率が上昇する一方、ブラジルやシンガポールの組入比率が減少しました。

個別銘柄では、南アフリカの製薬メーカーのアスペン・ファーマケア・ホールディングスなどを新規に買い付けたほか、中国の通信サービスのテンセン・ホールディングスなどを買い増しました。一方、南アフリカのメディアのナスパーズなどを一部売却したほか、フランスの企業向け福利厚生サービスのエデンレッドなどを全て売却しました。

株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

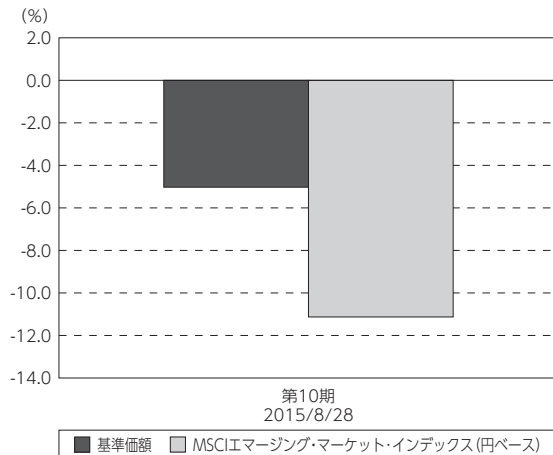
当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年8月29日～2015年8月28日）

ベンチマークとの比較では、当期はセクター配分がプラス寄与となった一方、銘柄選択がマイナスに寄与しました。

セクター配分では、主にエネルギー・セクターや素材セクターをアンダーウェイトしていたことがプラスに寄与しました。銘柄選択では、公益事業セクターやヘルスケア・セクターにおける選択が主にマイナス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。詳細は14ページをご参照ください。

分配金

（2014年8月29日～2015年8月28日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、240円（1万口当たり、税込み）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2014年8月29日～ 2015年8月28日
当期分配金	240
（対基準価額比率）	1.679%
当期の収益	－
当期の収益以外	240
翌期繰越分配対象額	4,937

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

新興国株式は、過去の平均水準と比べても先進国株式と比較しても割安に取引されており、バリュエーションは依然魅力的です。また、新興国市場には、先進国市場対比で非常に大きなリスク・プレミアムが存在しており、株価上昇の強力な指標として注目しています。一方で、期末に多くの新興国において政治的また経済的な不確実性が高まったことで、新興国の株式市場を取り巻く環境は困難なものとなっており、慎重なスタンスを維持しています。

マザーファンドでは、引き続き投資哲学に基づき、優れたファンダメンタルズと魅力的な長期トレンドを持つ過小評価された企業を特定することで、新興国市場における有望な投資機会の発掘を行います。当運用が取り入れる地域横断的なリサーチは、安定的な成長が見込まれる、魅力的な銘柄の発掘に貢献していると考えます。

今後も投資環境の変化に注意を払いながら運用にあたり、運用成果の向上に全力で取り組んでいく所存ですので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

※将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針が変更される場合があります。

お知らせ

2014年8月29日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

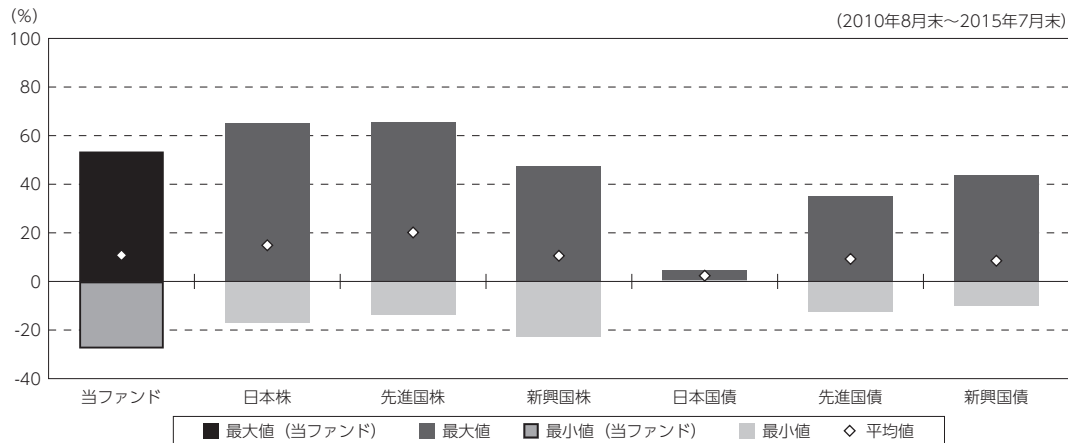
- ① 2014年12月1日付けで一般社団法人投資信託協会（以下「投信協会」といいます。）規則が改正実施されたことに伴い、第26条の2（デリバティブ取引等に係る投資制限）を新設し、デリバティブ取引等について、投信協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとししました。
（変更日：2014年12月1日）
- ② 2014年12月1日付けで投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）が改正施行されたことに伴い、第54条の2（運用報告書に記載すべき事項の提供）を新設し、投信法第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供することができることとししました。
（変更日：2014年12月1日）
- ③ 信託約款の付表に規定する「別に定める条件に合致する株式、新株引受権証券および新株予約権証券」については、投信協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」等に基づくものであるため、付表への記載は不要と判断し、付表から削りました。これに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。
（変更日：2015年4月17日）
- ④ 信託約款の付表に規定する「委託者の指定する販売会社」については、信託約款に記載することを求めている規則はないため、付表への記載は不要と判断し、付表から削りました。
（変更日：2015年4月17日）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2005年8月17日（信託設定日）から2024年8月28日まで	
運 用 方 針	①アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、長期的な信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 ②実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主 要 投 資 対 象	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	主としてアライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンドの受益証券に投資します。
	アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	主として新興国の株式に投資します。
運 用 方 法	①マザーファンドを通じて、主に新興国の株式に分散投資します。 ②アナリストの徹底した調査に基づきポートフォリオを構築します。 ③運用の一部は、アライアンス・バーンスタイン（A B）のグループ会社に委託します。 ④ファミリーファンド方式で運用を行います。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配可能額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	53.5	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△ 27.6	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 12.7	△ 10.1
平均値	10.8	14.9	20.1	10.6	2.4	9.3	8.5

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2010年8月～2015年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株……TOPIX（東証株価指数、配当込み）
- 先進国株……MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株……MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債……NOMURA - BPI 国債
- 先進国債……シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債……JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P24の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

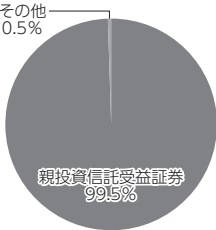
組入資産の内容 (2015年8月28日現在)

組入ファンド

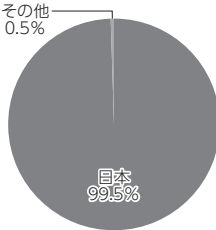
銘柄名	第10期末
アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド	% 99.5
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

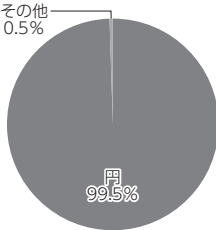
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第10期末
	2015年8月28日
純資産総額	6,899,970,119円
受益権総口数	4,908,774,036口
1万口当たり基準価額	14,056円

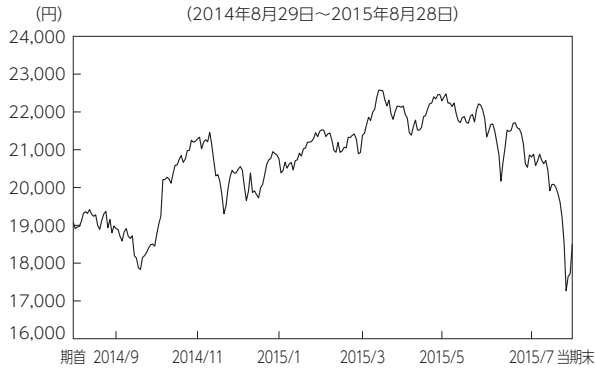
(注) 期中における追加設定元本額は531,139,828円、同一部解約元本額は1,265,613,975円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・新興国成長株マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。運用報告書（全体版）の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年8月29日～2015年8月28日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料	41	0.201
(株 式)	(39)	(0.190)
(オ プ シ ョ ン 証 券 等)	(2)	(0.012)
(b) 有 価 証 券 取 引 税	14	0.068
(株 式)	(14)	(0.068)
(c) そ の 他 費 用	48	0.232
(保 管 費 用)	(18)	(0.086)
(そ の 他)	(30)	(0.146)
合 計	103	0.501

期中の平均基準価額は、20,730円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年8月28日現在)

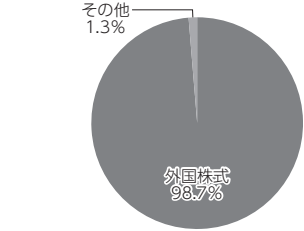
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	6.5
2	TENCENT HOLDINGS LTD	ソフトウェア・サービス	香港ドル	ケイマン島	4.2
3	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	食品・飲料・タバコ	英ポンド	イギリス	3.9
4	AIA GROUP LTD	保険	香港ドル	香港	3.3
5	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	銀行	インドルピー	インド	3.1
6	BAIDU INC-SPON ADR	ソフトウェア・サービス	米ドル	ケイマン島	3.0
7	TAL EDUCATION GROUP ADR	消費者サービス	米ドル	ケイマン島	3.0
8	ECLAT TEXTILE COMPANY LTD	耐久消費財・アパレル	新台幣ドル	台湾	3.0
9	YUM! BRANDS INC	消費者サービス	米ドル	米国	2.8
10	ASPEN PHARMACARE HOLDINGS LTD.	医薬品/バイオテクノロジー/ライフサイエンス	南アフリカランド	南アフリカ	2.6
組入銘柄数			69銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

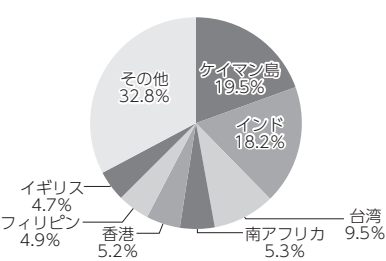
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

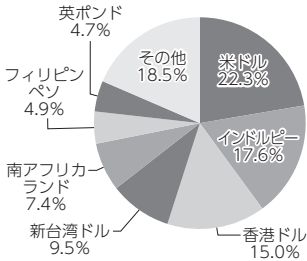
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX（東証株価指数、配当込み）

TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。